

ARTS for HOPE

宮城チーム活動報告書 2013年9月18日

仙台市・岡田児童館

台風一過の晴天。降水確率0%のこの日は、「チョークでお絵描き」
ちょっぴり暑いけれど秋らしい午後となりました。
いつもは駐車場のコンクリートとアスファルトでできた敷地に、
様々な色のチョークを持った子どもたちが散らばります。
今までこのワークショップやってきたなかで一番広いスペースのため、
なんだか最初は子どもたちの位置にパラパラ感があったのですが、
地面近くにしゃがみ込んだ彼らは、黙々と。
そして、グループのなかで盛り上がり、トラブルが発生しながらも、
絵を描いてゆきます。
夕方の日差しで影をつくり、そこにできた人のかたちを
なぞって線をひいてゆく女の子たち。そこに、目や髪の毛ができ、
最初おっぱいもある裸ん坊だった先生の影に、やがて洋服も着
せられていきます。

ひとりの世界のなかで、じっくりと作品づくりに没頭する男の子。
虹色ホールを複数作りあげてゆくチーム。(ちなみに虹色ホールは
ブラックホールの真逆にある宇宙の代物らしいです)

ひたすら側溝の上のコンクリート面に白いチョークを塗り続けた女
の子だけのチームが、最後、そこに色彩を加えたときは、なんかロ
マンチックでしたねえ。

ちなみにバス通りに面している岡田児童館。道を走っている車から
もよく見えるらしく、速度を落とし、パトカーまでもが様子を覗い
ていたのが、愉快、愉快。帰り道の子どもたちも、なんだか中の子
どもに呼ばれて入ってきたり。近くのボランティアセンターのお兄
さんまで「なんだか楽しそうだね」とフェンスの向こうから声をか
けてくださいました。

他の児童館では、ラスト思いっきり水を流して跡形もなくするのですが、
水でお掃除も半分てな感じで、先生の「あとは雨にまかせましょ！」で、
奇妙に色彩の残ったままお開きとなった「チョークでお絵描き」でした。

